

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曾観光地域づくり戦略プロジェクト事業
事業主体 (連絡先)	木曾広域連合 (0264-23-1050)
事業区分	⑥ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,393,264 円 (うち支援金: 1,362,000 円)

事業内容

木曾地域特有の観光資源を取り入れたモデルツアーの実施及び木曾地域のガイド育成事業を実施。

- ・茶摘み体験 5月中に2回実施 計12名
- ・源流アウトドア 10月3日に実施 22名
- ・ワーケーション 11月2-4日に実施 1名
- ・赤かぶ料理(事業者向け) 10-12月に2回実施 計18名
(一般向け) 11-1月に2回実施 計13名
- ・藍染め体験ツアー 11月中に2回実施 計8名
- ・紙漉き体験ツアー 2月26-27日に実施 6名
- ・大寒の焚火会 3月20-21日に実施 21名
- ・ガイド養成現地研修 10月中に2回実施 計19名

※新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、ワーケーションは1回の実施に留まり、ガイド養成の研修会は中止した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①ツアー実施後に参加者アンケートを行い、今後各ツアーが商品化されるにあたり良い点や課題を把握することができた。実施したツアーの中には次年度以降商品化が十分できるようなものもあり、今後木曾地域を訪れる観光客の滞在時間延長・観光消費額増加に期待できる。
- ②既存のガイドとの連携により新規ガイド希望者の掘り起こし施策を検討、後継者発掘・育成に向けて弾みがついた。また、既存ガイドの資質向上にも資するものとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和元年度より3年間継続して事業を実施し、商品化した事業、商品化の兆しが見えた事業、課題が多く商品化には工夫が必要な事業など様々ではあったが、木曾の伝統や食、季節が持つ魅力を盛り込んだコンテンツを多く創出することができた。引き続き、木曾の魅力を感じられるコンテンツの掘り起こしを行いながら、木曾地域での観光滞在時間延長及び消費額増加を図るべく、今まで創出してきたコンテンツの商品化に向け、官民一体となって検討していきたい。

また、観光ガイドについても、ガイドの高齢化など喫緊の課題も多くあるため、新規で掘り起こしたガイド希望者の養成を進めながら、より多くの希望者の掘り起こしも継続していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【藍染め体験】

【目標・ねらい】

- ①観光客の滞在時間延長及び観光消費額増加を図るコンテンツづくりのための滞在型モデルツアーの実施
- ②新規ガイド希望者の掘り起こしの施策検討及び既存ガイドの育成

※自己評価【B】

【理由】

- ①参加者からのアンケート結果により商品化に向けた具体的な課題を洗い出すことができた。一部ツアーにおいて商品化できるものもあった。
- ②実地研修で概ね予定参加人数を得て、実践的な研修を行えた。